会社概要説明

19.9.25

株式会社丸信製作所

会社沿革

1946年（昭和21年）8月	丸信銅器製作所を高橋晋三郎が野沢町に創業
1950年（昭和25年）8月	株式会社に改組　疎開工場の機械を譲り受け 自動車部品の加工を始める当初浸炭焼き入れを行う
1963年（昭和38年）6月	日野自動車㈱の協力工場となる スプリングピンを納入　順次アイテム増加
1970年（昭和45年）4月	高周波焼入れ装置を導入
1972年（昭和47年）6月	岸野に工場用地を取得
1977年（昭和52年）7月	（株）小松製作所の熱処理認定取得
1986年（昭和61年）1月	東急車輌製造（株）の熱処理認定取得
1986年（昭和61年）5月	岸野第二工場建設ロッカーシャフト加工始める
1989年（平成元年）6月	現住所に全社移転
1991年（平成3年）　9月	インドネシアP.T.GARUDA METAL UTAMA とＳ／Ｐ技術提携（技術供与）
2000年（平成12年）7月	ISO９００１を取得
2002年（平成14年）1月	新三菱キャタピラーの熱処理認定を取得
2004年（平成16年）6月	ISO１４００１を取得
2008年（平成20年）3月	トヨタ向け（オティックス）ｺﾝﾄﾛｰﾙｼｬﾌﾄ生産開始
2016年（平成28年）3月	新第4工場完成
2017年（平成29年）9月	日産自動車（株）（FSE)向けﾘﾝｸﾋﾟﾝ生産開始
2019年（平成31年）4月	株式会社　第７０期　創業７０周年

（敬称略）

自動車の種類

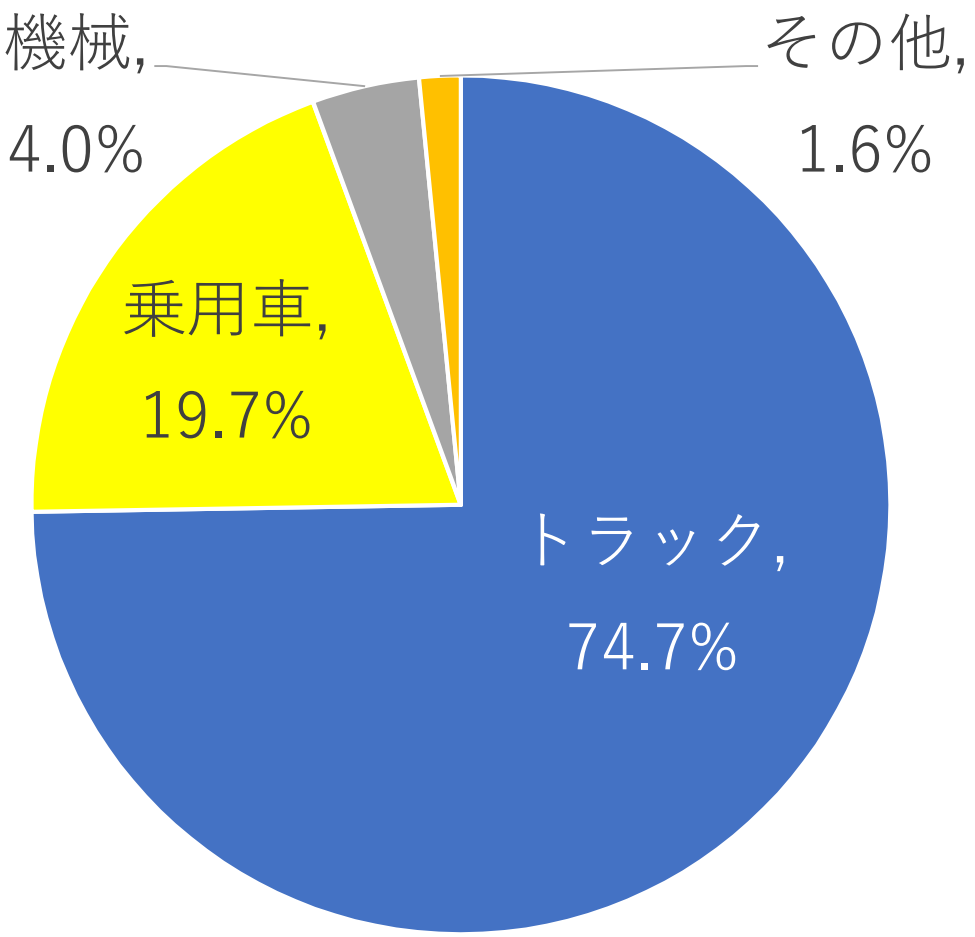
乗用車

自家用自動車

商用車

トラック、バスなど

主な取引先(業種別2018年度)



日本のトラック業界

日野自動車　いすゞ　UDトラックス　三菱ふそう

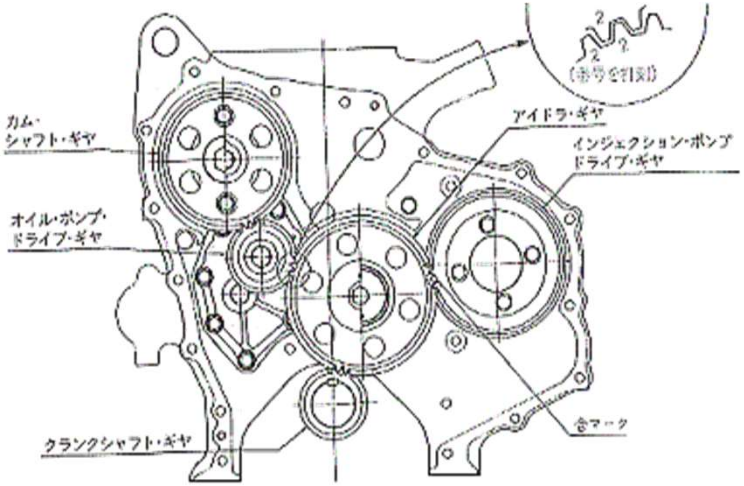
主な生産品目

自動車部品

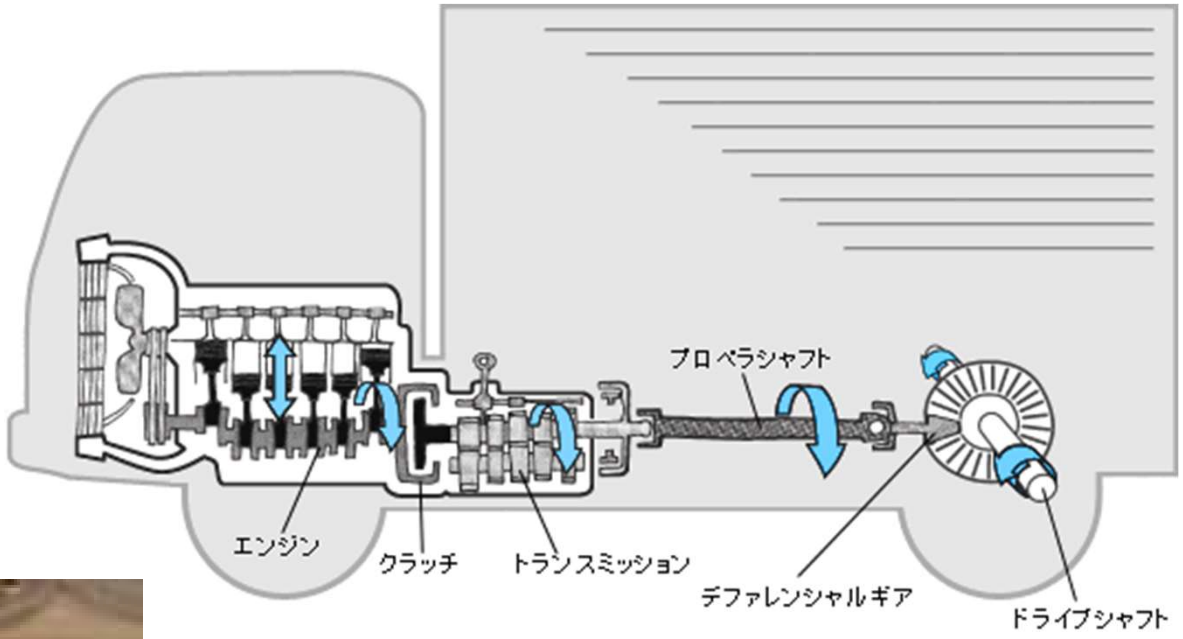
エンジン部品---アイドルギアシャフト、ロッカーアームシャフト
ミッション部品---シフトシャフト、プラネタリシャフト
ブレーキ部品---ピストン、コネクタージョイント
シャシー部品---スプリングピン、アブソバーピン

油圧・空圧機器部品---スプール　レバーアーム

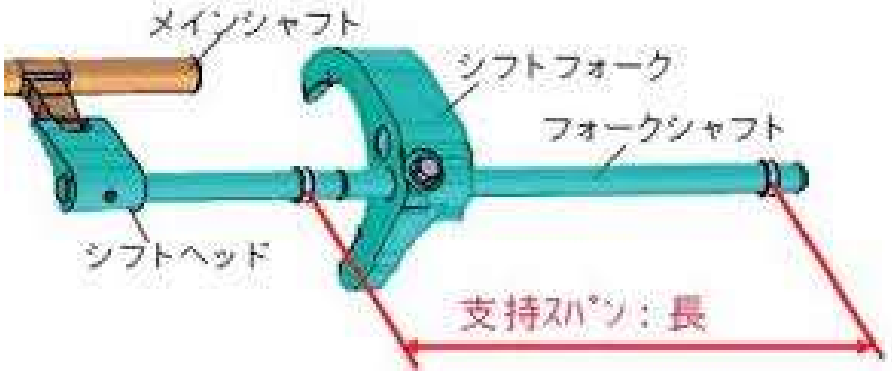
主な生産品目(アイドルギヤシャフト)



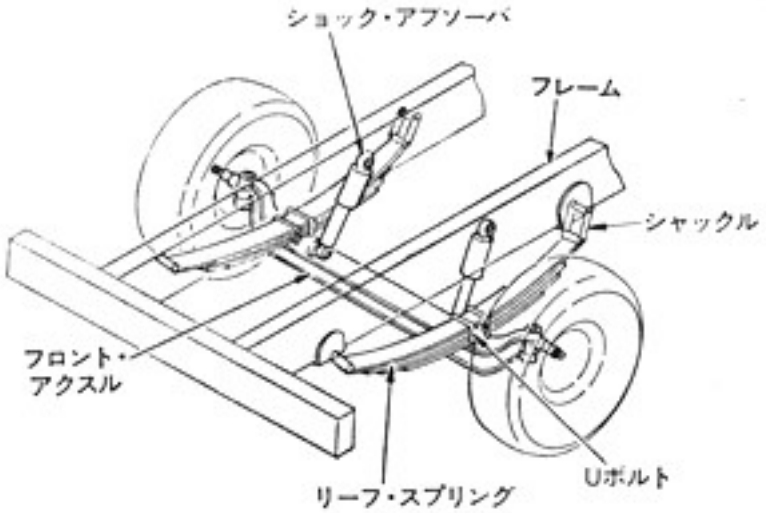
主な生産品目(トランスミッションシフトシャフト)



開発品：シフトフォークが締結された
フォークシャフトがスライドする構造

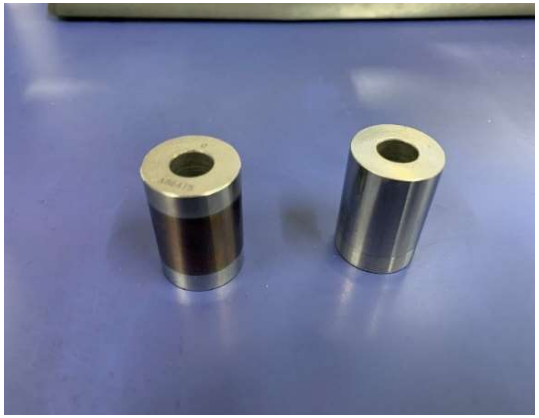


主な生産品目(スプリングピン)



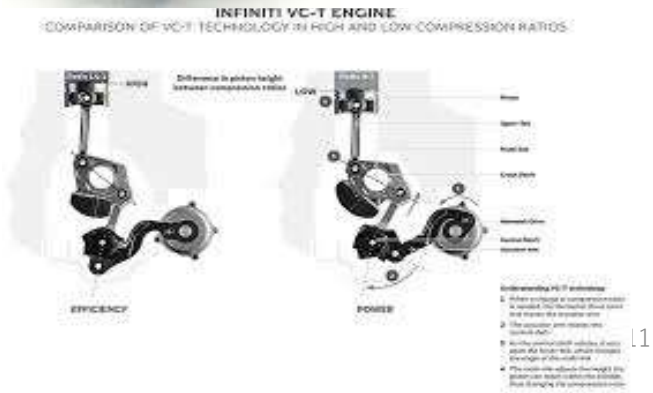
主な生産品目(コントロールバルブ用スプール)

主な生産品目(リンクピン)

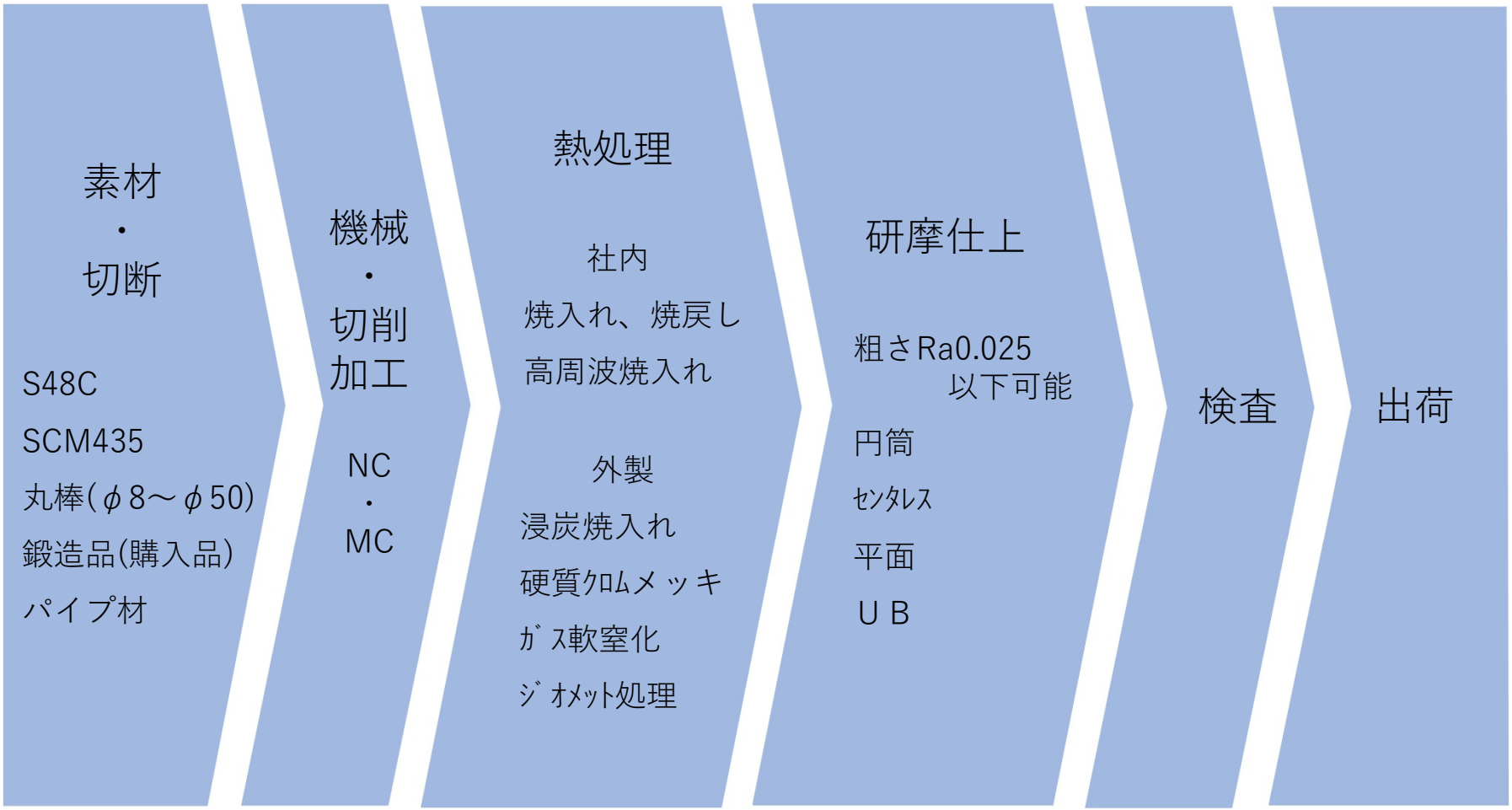


可変圧縮比ターボ
エンジン
"VC-Turbo"

排気量:2000cc
出力:270馬力
燃費:同クラスの従来型
ガソリンエンジンに比べ
27%改善の見込み



工程概要


素材
・
切断
S48C
SCM435
丸棒(φ8～φ50)
鍛造品(購入品)
パイプ材
機械
・
切削
加工
NC
・
MC
熱処理
社内
焼入れ、焼戻し
高周波焼入れ
外製
浸炭焼入れ
硬質ｸﾛﾑﾒｯｷ
ｶﾞｽ軟窒化
ｼﾞｵﾒｯﾄ処理
研摩仕上
粗さRa0.025
以下可能
円筒
ｾﾝﾀﾚｽ
平面
ＵＢ
検査
出荷

特記事項

1. 日産殿向け　VCRエンジン用リンクピン量産開始
2017年10月　20,000本/月→2019年8月　80,000本/月

2. 太陽光発電　2008年5月より開始
環境省　認定事業所
LLP佐久咲くひまわり参加
50kW／h設置→200kW／日　発電中
設置より60万kwh　CO2　300t削減

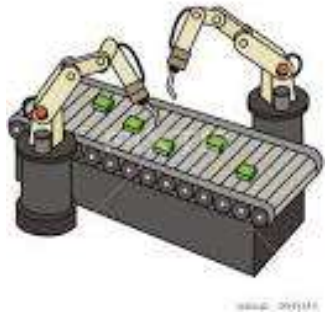
3. 改善活動への取り組み
自主的改善研究会（自主研）2005～2018年度
・ｱｲﾄﾞﾙｷﾞﾔｼｬﾌﾄﾗｲﾝのNC、MCの作業改善実施
・平準化集荷・構内物流しくみ導入・スペーサーライン平準化生産
・コネクターライン改善・ピストンロッド改善
・NC／MCラインしくみ改善
ものづくり改善・CF活動（Customer　First）
アイドルギヤ段取り改善、こだわり「ゼロ」活動、2S活動

4. 海外展開　インドネシア現地調達対応
2014年度　新規アイテム量産開始　　2016年　1点現調済み
2019年7月　ベトナムハノイにてレンタル工場稼働開始

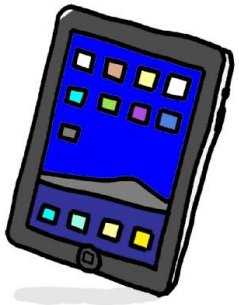
今後の方針

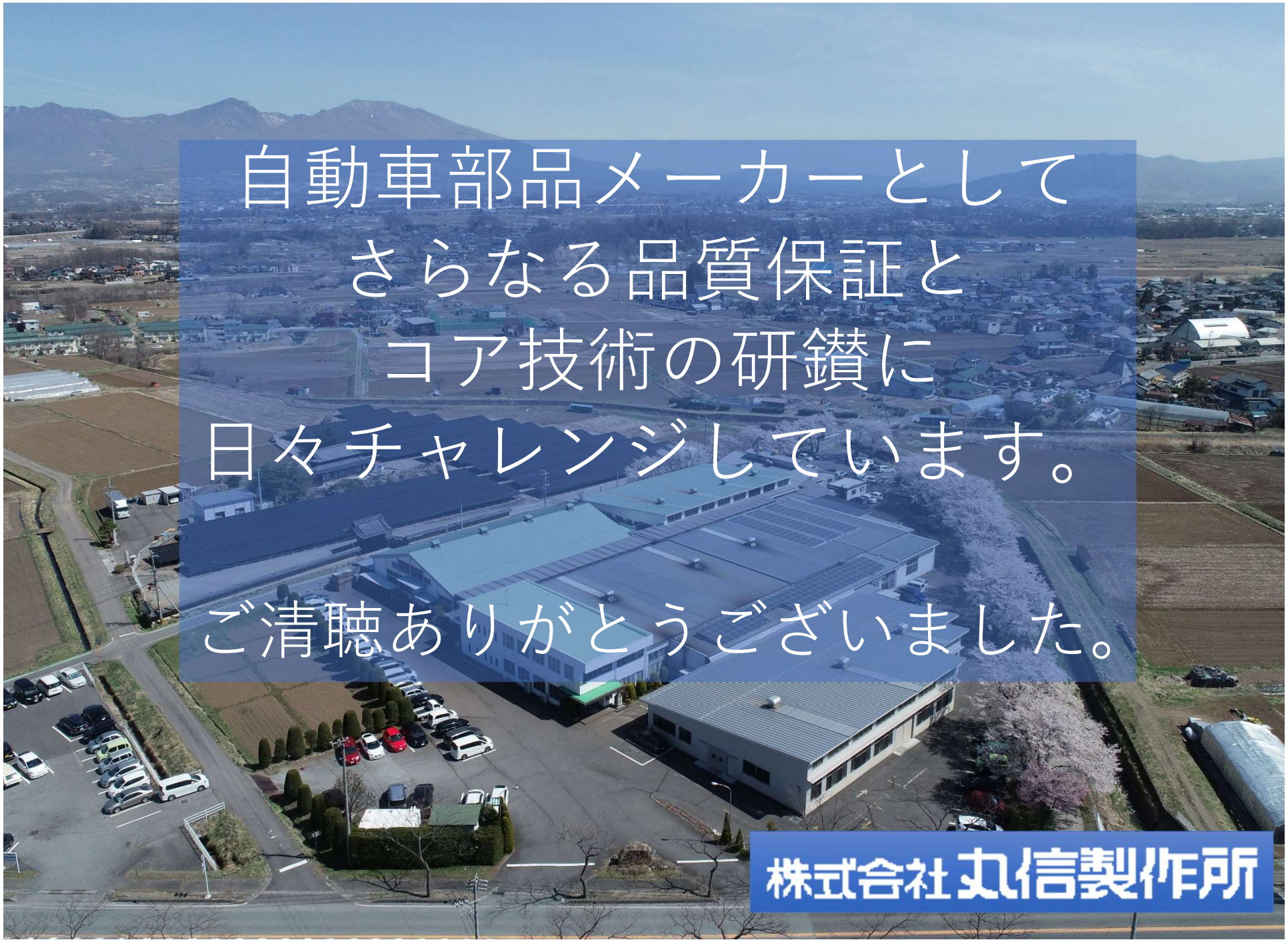
自社のコア技術を更に高め、競争力を強化し、国内で仕事を受注できる体力作りを行う

- 自働機生産技術による生産性ＵＰ
ﾛﾎﾞｯﾄ化、 ＥＨ・研磨のｲﾝﾗｲﾝ化、設備更新



- 電子端末使用による生産管理。
リアルタイムに生管と現場をつなぐ
生産性・品質の向上




自動車部品メーカーとして
さらなる品質保証と
コア技術の研鑽に
日々チャレンジしています。
ご清聴ありがとうございました。
株式会社丸信製作所